

令和6年度 学校経営計画

流山市立南流山小学校

1. 経営の基調

学校は、楽しく、美しく、安全で安心できる場所であるという理念に基づき、**子ども達も教師も、個性を尊重し、支え合い、良さを伸ばすことができる学校**でありたい。

2. 学校教育目標

共に生きる社会を創り出す子どもを育てる

(1)〈めざす子ども像〉 こんな子どもたちに！

思いやりの心を持ち**ふわふわ**言葉で伝えられる子ども

健康に気を付け**すくすく**成長する子ども

わくわく進んで考え表現する子ども

(2)〈めざす学校像〉 **みんなで作る温もりのある南流山小学校**

(3)〈めざす教師像〉「**チーム南流小**」

- ①子どもを大切に、共に汗を流せる教師
- ②教職員と協働し、組織的に動ける教職員
- ③絶えず自己研鑽に励む教師

3. 経営方針

【本年度の重点】

(1) 学校経営

☆どの子にも居場所のある学校
☆進んで考え、行動する教職員、児童

- ・運営委員会から学年会へ確実な情報共有
- ・小中、小小、幼保連携等を生かした特色ある教育活動
- ・開かれた学校と地域の教育力の活用(コミュニティスクールスタート)
- (保護者・地域の来校機会の確保、学校評価、地域・外部人材の積極的な活用)
- ・常にきれいな学校を目指し、環境整備、整理整頓、きめ細かい清掃指導を心がける。

(2) 学習指導

☆授業で子どもの意欲を育てる

◇知りたい!考えるって楽しい!と関心を向上させることから

- ・感動ある**読書活動の充実**と読み語りの推進
(木曜日の朝学習 1～3学年は毎週読み語り、他学年は朝読書、中学年毎学期に1時間読み語りの時間、高学年は3学期に1時間読み語り + すきま読書の推奨)
- ・ICT教育の充実(タブレットの有効活用と**家庭との連携**)
- ・**個別最適な学びと協働的な学びの推進**
→**主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善**
- ・**外国語教育**を通じたコミュニケーション力の向上
- ・**家庭学習の工夫**と学年や個に応じた内容調整 (個別最適化・主体的な学びを推進)

(3) 道徳・特別支援教育 **☆自他を大切にする心を育てる**

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた多様な教育の場の提供(**スマイルルームの活用**)
- ・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成と**保護者との合意形成**
- ・特別支援学級担任・通級指導担当と通常学級担任との連携と交流や共同学習の充実
- ・特別支援教育推進委員会、ケース会議における**校内相談体制の充実**
- ・教室における**個別的支援の充実**(**サポート教員・スクールアシスタント等担任 + αの活用**)
- ・**異年齢交流・地域人材の活用**による人間関係づくり

- (4) 健康安全教育的命を守る～基礎的知識を身につけ、適切に行動する力を育てる
- ・感染症予防の徹底・安全点検後の即時対応
 - ・運動に親しむ資質の育成と遊・友スポーツランキングちばを活用した体力向上
 - ・危機管理マニュアルの改善
 - ・危機管理のさしすせそ(最悪を想定、慎重に、素早く、誠実に、組織的に) けがの報告、アレルギー対応、安全点検、戸締まり
 - ・食育、給食指導、保健指導の充実(養護教諭、栄養教諭による授業)
- (5) 生徒指導 ☆組織的な指導・対応で児童も教員も安心できる学校に
- ・教科担任制を活用した学年全体の確かな児童理解とチームでの指導
 - ・基本的な生活習慣(早寝早起き朝ご飯・南流山小学校校内のきまり)の定着
 - ・いじめの未然防止(全学年でいじめ防止授業実施)・早期発見(児童観察、心の天気、アンケート等)・早期対応(疑い事案はその日のうちに第一報を)
 - ・問題発生時は、即報告、対応検討 その後丁寧な聞き取り、寄り添った指導と確実な記
 - ・日常的な教育相談活動の充実とスクールカウンセラー、養護教諭との連携
 - ・児童虐待等:子ども家庭課・柏児童相談所等関係機関と連携
 - (虐待疑い事案発生時は即管理職報告(児童下校前))
 - ・Q-U調査(web)を活用した、居心地の良い、充実感のある学級作り
- (6) 職員研修 授業研究の充実と指導技術の向上
- ・校内研修、計画訪問、各種研修会での研究授業の参観、他校研究視察
 - ・若年層研修の充実を図る。授業研究(初任・2年目・3年目・中堅研)
 - ・モラルアップ委員会主体の不祥事防止・業務改善へ向けたボトムアップ研修の実施
- (7) 学級学年経営・特別活動 豊かな体験活動の推進
- ・委員会の常時活動の充実(年間を通してSDGsと関連)
 - ・学級・学年を基盤とした自主的・実践的な活動
- (8) キャリア教育
- ・発達の段階に応じた職業・勤労観を育成するため、地域人材、外部人材を積極的に活用
 - ・キャリアパスポートの作成と計画的な実施
- (9) 教職員の働き方の改善
- ～教職員の心のゆとりが児童の安心・生きる力の育成につながる～
- ・学級編制の柔軟な対応(2・4・5年)の活用と増置教員・専科加配教員の配置により、全学年に担任外の教員及びサポート指導員orスクールアシスタントを配置
 - 空き時間の有効活用(他のクラスの授業観察・教材研究・児童の評価等)
 - 放課後の時間外勤務の削減へ
 - ・委員会活動・クラブ活動の担当の重複を可能な限り避ける
 - ・部活動の朝練習廃止(陸上大会要検討)・放課後練習＝週2日以内勤務時間内で調整
 - ※地域ボランティアの発掘
 - ・電話対応の時間短縮 朝7:30～夕方17:00
(出退勤時刻の前後30分まで ただし応答電話対応は17:30まで)
 - ・窓口対応時間の限定 朝8:00～夕方17:00
 - ・校舎施錠は基本的に19時前とし、18時30分を超えて勤務する教職員は教頭に申し出る